

内科学：老化

40-084 高齢者の身体特徴で誤っているのはどれか。

1. 高音域の聴力低下
2. 肺の残気量減少 **増加**
3. 収縮期血圧の上昇
4. 消化管通過時間の延長
5. 関節軟骨の変性

43-065 高齢者における変化で誤っているのはどれか。

1. 収縮期血圧低下 **上昇**
2. 腎血流量低下
3. 心拍出量低下
4. 赤血球数低下
5. 体水分量低下

44-050 加齢に伴う骨格筋の萎縮で正しいのはどれか。

1. 細胞のアポトーシスである。は正しい。
2. 退行性変化の1つである。
3. 筋原性変化が特徴である。 **神経細胞(α運動細胞)の減少**
4. 筋線維がマクロファージに貪食される。) → **筋の壊死である。**
5. 筋線維が結合組織に置換される。

45-A-095 高齢者に発生しやすいのはどれか。

1. **I型糖尿病 II** **I型糖尿病は若年者**
2. 関節リウマチ **20~50代の女性に多い**
3. 多発性骨髄腫 **50才以降、特に60才以降に多い。**
4. 多発性硬化症 **15~50代の女性に多い。**
5. 線条体黒質変性症 **40~70才**

45-P-095 加齢によって増加するのはどれか。

1. 夜間尿量 **昼間 整位や立位と比べると、下肢の血液がモビリティが低い。臥床することで臓器の静脈還流量が増加するため腎血流量も増加し、夜間尿量が増加する。なお、高齢者では循環血漿量が低下するため全体としては腎血流量は減少する。**
2. 腰椎骨密度
3. 左室駆出率 } **これらは低下する。**
4. 動脈血酸素分圧
5. 最大酸素摂取量

46-P-068 高齢者で減少するのはどれか。2つ選べ。

1. 心拍出量
2. 腎血流量
3. 体脂肪率 **↑ 筋肉量が減少し、脂肪量が増加する。**
4. 末梢血管抵抗 **↑ 動脈硬化により血圧が上昇する。**
5. 機能的残気量 **↑ 残気量は増加、肺活量は減少する。**

46-P-082 高齢者の長期の安静臥床の影響として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 記憶力の低下 **(精神活動の低下)**
2. 1回換気量の増加 **低下 (呼吸機能の低下)**
3. 循環血液量の減少
4. 安静時心拍数の減少 **増加。循環血液量の減少を代償しようと交感神経となる。**
5. 血中カルシウム濃度の低下 **増加。腸吸収が増加するため血中カルシウム濃度が増加する。**

47-P-095 高齢者にみられる加齢に伴う変化で誤っているのはどれか。

1. 関節軟骨の変性 → 変形性関節症
2. 高音域の聴力低下
3. 収縮期血圧の上昇 (動脈硬化による)
4. 唾液分泌量の増加 低下
5. 食塊の消化管通過時間の延長

48-A-095 老年症候群について誤っているのはどれか。

1. 虚弱な老人に特有の症候である。
2. ADL の阻害要因となる。
3. 活動性が低下しやすい。
4. 単一の原因で起こる。複数の病気の運動量の低下、咀嚼・嚥下力の低下消化力の低下などが組み合わさって起こる。
5. 悪循環に陥る。

48-P-068 生理的老化について誤っているのはどれか。

1. 残気量が増加する。
2. 骨塩量が減少する。(→ 骨石灰質症)
3. 水晶体の蛋白変性が起こる。(→ 白内障)
4. 筋持久力より瞬発力が先に低下する。(Type IIbの筋線維が先に低下)
5. 低い声より高い声の方が聞き取りやすい。白筋にいい。

48-P-095 高齢者にみられる特徴はどれか。

1. 男性における前立腺の萎縮 肥大
2. 卵胞刺激ホルモンの低下 増加 女性ホルモンの卵胞ホルモン(エストロゲン)の分泌が低下するため、代償して下垂体前葉から分泌される卵胞刺激ホルモンの分泌が増加する。
3. 歩行開始時の心拍数減少 増加 (息切れ、動悸等)
4. 前角細胞数の減少
5. 立位時の骨盤前傾 後傾 (円背)

50-P-089 加齢に伴い増加するのはどれか。

1. 速筋線維
2. ビタミンD
3. 成長ホルモン
4. α運動神経細胞
5. 炎症性サイトカイン 炎症が生じやすくなる。